

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価											
巡回・窓口相談指導事業	従来の金融や税務相談等のほかに、経営環境や財務内容の分析とその結果に基づき、需要を見据えた事業計画を策定する伴走型支援事業を実施する。前年度と同じく、重点的に指導する事業所を選定し、当該事業所に対して相談を重ね、指導内容の質的向上を図っていく。創業件数の増加と開業後の伴走型支援を実施するために創業支援相談窓口を設置する。	・巡回窓口指導実企業数 432件 （非会員32件） ・巡回窓口指導延件数 1388件 ・課題解決提案件数 23件 ・経営革新承認件数 2件 ・創業支援者数 7件 （指導延回数 12件）	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 102.8%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 76.7%)			昨年同様、従来までの経営相談の柱であった金融、税務の割合が減少し、新商品等の開発や販路拡大を図る相談指導が増えきており、伴走型支援の普及が広がっている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	①上げる②現状維持	経営相談の内容が高度化・専門家するなかで、1件に費やす時間等も長くもなっているが、効率を上げるよう努めることで若干の目標増加を図る。
				目標数値	1350	実績数値	1388	目標数値	30	実績数値	23					B			A				
記帳継続指導	人的資源の乏しい小規模事業者が経理事務の省力化と経営計画に必要な各種指標を把握できるように記帳機械化の推進を図るとともに、正しい税知識の習得による適正な申告納税を実現する。	・指導対象者数 69名 ・指導延回数 638日 ・指導延回数 730回	小規模事業者	指標	記帳指導延回数 (達成度 117.6%)			指標	(達成度 %)			小規模事業者の経理事務の省力化と税務知識の向上に努めた。また、金融相談や経営計画作成への活用も行うことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	現状維持	財務諸表を積極的に活用できるよう、経営計画の必要性についても理解を深められるよう努める必要がある。
				目標数値	621	実績数値	730	目標数値		実績数値						A			A				
講習会等	企業の経営力強化および持続的な発展に寄与する講習会等を開催する。集団指導では、経営戦略や事業計画の策定支援セミナー、業種別講習会を開催する。個別指導では、専門家による助言・指導をもとに課題抽出および解決に向けた支援を行う。	講習会開催回数及び参加者数 ・集団指導 7回 39名 ・個別指導 9回 28名	小規模事業者	指標	集団指導参加者数 (達成度 111.4%)			指標	個別指導参加者数 (達成度 93.3%)			経営計画作成セミナーにより、事業計画作成のノウハウが高められ、補助金申請にも積極的に取り組む姿勢がみられた。業種別講習会では、技術的指導に加え、スタイル提案等もあり、サービス向上に役立つものとなった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	①下げる②現状維持	経営計画作成セミナーは継続し、事業計画作成の定着と実行支援を図る。業種別講習会についても、事業者のサービス向上につながるよう努めたい。
				目標数値	35	実績数値	39	目標数値	30	実績数値	28					B			A				
若手後継者等育成事業	知識や資質の向上を図るため青年部・女性部それぞれ講習会等を開催する。地域振興活動の持続的維持基盤を確保するため、個店の経営力強化に重点を置いた次世代塾を実施する。	・講習会等参加延人数 37名 ・若手後継者等育成セミナー 56名 ・次世代塾参加延人数 26名	小規模事業者・青年部員・女性部員	指標	講習会等参加延人数 (達成度 61.7%)			指標	次世代塾参加延人数 (達成度 216.7%)			青年部は関係団体の講習会のほか、若手後継者等育成セミナーを実施し、女性部も知多支部の講習会に参加し、見識を深めた。次世代塾は講習会や視察を実施し、多くの参加者を得た。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	①下げる②上げる	青年部では若手後継者等育成セミナーを実施する。次世代塾ではコースの高い講習会を開催し、事業者の見識向上を図る。
				目標数値	60	実績数値	37	目標数値	12	実績数値	26					A			A				
祭典事業	於大まつり・産業まつりに協賛し、にぎわいの創出、活性化に寄与する。於大まつりにはバザー出展、産業まつりでは商工業展を開催し、「於大の方」などの地域資源をPRするとともに地元商工業者の認知度および売上向上を図る。	・於大まつり 4月15日(土) (出展事業者 10社、来場者数 15,000人) ・産業まつり 11月11日(土)、12日(日) (出展事業者 29社、来場者数 24,000人)	中小・小規模事業者	指標	出展事業者数 (達成度 69.6%)			指標	(達成度 %)			限られた出展スペースの中、出展事業者独自の商品が販売され、地域活性化の一翼を担うとともに地域住民へのPRによる売上拡大効果を得られた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	現状維持	行政との連携を密にとり、事業者および地域住民に還元できる事業となるよう努める。
				目標数値	56	実績数値	39	目標数値		実績数値						B			A				
地域振興事業	地域の活性化に資する事業や事業者間および行政との情報交換を行う機会を提供することで地域事業者の交流と地域振興を図る。	・賀詞交歓会参加人数 95名 ・会員親睦事業参加延人数 79名 ・各地区運営指導 110名	中小・小規模事業者	指標	参加延人数 (達成度 105.2%)			指標	(達成度 %)			事業者間および行政等の相互交流のため、賀詞交歓会や会員親睦事業、地区総会を実施し、当初の目標に達する参加者を得ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	現状維持	賀詞交歓会については会場の定員に制約があるもの予算等の理由から現行通り実施する。親睦事業についても現行通りとする。
				目標数値	270	実績数値	284	目標数値		実績数値						A			A				
ウエルネスバレー・街づくり事業	ウエルネスバレー構想推進のため「製版ドリアンモデル」による医療・福祉分野への進出支援や健康長寿関連の商品やサービスに対する「ウエルネスバレーブランド」の認定支援等の事業に取り組む。経営セミナー「あきんど塾」を開催し、販路拡大等への取り組みを支援するとともに事業の持続的発展に寄与する。また、商店組織への活動支援を行う。	・ウエルネスバレー事業参加事業者数 8社 ・あきんど塾 71名 ・緒川商栄会事業参加延人数 139名	中小・小規模事業者	指標	ウエルネスバレー参加事業者数 (達成度 80.0%)			指標	各事業参加延人数 (達成度 323.1%)			東京都文京区で開催された「製版ドリアンモデル」による商談会への参加が2社、ブランド認定に取組もうとした事業所が3件(うち1社認定予定)あり、ウエルネスバレー構想への参加が広がっている。「あきんど塾」は3日間開催し、経営者としての資質向上が図られた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標	①現状維持②上げる	ウエルネスバレーについては、「製版ドリアンモデル」による商談会からコース発表会、ブランド認定事業へと重点を移す。あきんど塾では近隣商工会議所と連携し、より一層の周知を図るとともに、参加者の経営ニーズに合った講習会となるよう努める。
				目標数値	10	実績数値	8	目標数値	65	実績数値	210					B			A				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足
調査・広報事業	小規模事業者にとって有益と思われる金融・労務・税務等の情報や国・県等の小規模政策や各種補助金の詳細について遅滞なく発信することで事業者の情報選択能力を補完するとともに商工会事業についても周知を図る。	・広報誌発行回数 12回 ・ホームページによる情報発信	中小・小規模事業者	指標 広報誌発行回数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	小規模事業者の経営改善に有益と思われる情報を取捨選択して広報誌やチラシにより情報提供するよう努めた。また期限のないものについてはホームページを積極的に活用した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	国の補助金等期日に余裕のない情報をより遅滞なく情報提供できるように広報誌の作成時間の短縮に努める。	○		
雇用促進事業	中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定に寄与するため、優良従業員表彰を実施し、従業員の定着化および勤労意欲の高揚に繋げる。また、新規学卒者等の採用の機会創出のため合同企業説明会を開催し、雇用促進を支援する。	・優良従業員表彰者 22名 ・合同企業説明会開催 2回	中小・小規模事業者	指標 優良従業員表彰者数 (達成度 110.0 %)	指標 (達成度 %)	雇用の安定および従業員の勤労意欲向上のため優良従業員表彰者の推薦がなされた。また、合同企業説明会において、近隣市町の新規学卒者等への採用活動を支援することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	優良従業員表彰については、今後も事業所に周知を行い、利用を拡大を図る。合同企業説明会については、近隣諸団体と連携し、より来場者が増えるよう努めたい。			
部会・委員会事業	工業部会では町内の大手企業との連携強化のため町内の企業2社の工場見学を行うとともに、将来に向けたものづくりとひとつのつくりのため産業まつりに出展する。商業部会では産業まつり抽選会開催のため、事前に抽選会加盟店を募集し、まつり当日の賑わい創出に努めるとともに、参加企業の事業発展に資する事業に取り組む。各委員会について必要に応じて適宜開催する。	・部会・委員会活動 32回 ・抽選会加盟店舗数 87店	中小・小規模事業者	指標 部会・委員会開催回数 (達成度 128.0 %)	指標 抽選会加盟店舗数 (達成度 96.7 %)	工業部会では、町内にある優良企業2社の工場見学と産業まつりでの子供を対象にしたものづくり体験に多数の参加者があり、企業および町民との連携に努めた。商業部会では、産業まつりにおける抽選会を開催し、賑わいの創出に努めた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①上げる②下げる	各種委員会・部会活動は各会が行なわれ、充実した活動を目指すため、開催回数を若干増やす。抽選会については概ねこれまでどおりとする。			
福利厚生事業	経営の持続的安定を図るための各種共済制度の普及を図るとともに法律で規定されている定期健康診断に必要とされる項目を網羅した健診事業を実施することで中小企業・小規模事業者における従業員の健康と福利厚生に資することを目的とする。	・各種共済制度加入件数 31件 ・事業所健康診断受診者数 61名	中小・小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 77.5 %)	指標 事業所健康診断受診者数 (達成度 101.7 %)	共済制度の普及については事業所の必要性を鑑みて推進することに努めた。事業所健康診断受診者数は例年並みであり、事業所に求められる従業員の健康管理に資することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	健診事業について現行の方法では受付者をこれ以上増やせないため、需要に合わせて柔軟に実施時間等の見直しが必要である。			
労働保険事業	労働保険料の申告納付をはじめ、従業員の入退社に伴う届出書類の作成等を事務組合にて受託し、中小企業・小規模事業者の事務負担軽減を図る。また、必要に応じ労災・雇用両保険の適正な給付申請等を支援し、良好な労使関係の構築や労働面における経営基盤の安定に繋げる。	・受託事業所数 108事業場	中小・小規模事業者	指標 受託事業所数 (達成度 102.9 %)	指標 (達成度 %)	事業場に応じた申請・届出および適正な保険給付の助言・指導を行い、事業主の事務手続きの軽減に一定の効果を発揮した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	未加入事業所に対し労働保険制度の理解を促し、受託事業所の増加を図る。また、既存事業所に対し、制度改正等の新たな情報を提供し、良好な労使関係の構築に寄与する。			
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体との連携や活動をサポートすることにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては商工業の活性化に還元されることを目的とする。	・青色申告会役員会等 5回 ・法人会役員会等 7回	青色申告会・法人会員	指標 委員会等開催回数 (達成度 109.1 %)	指標 (達成度 %)	税制等の研修を通じて税務に関する知識の修得及び重要性についての認識を高めることができた。また、地域の異業種間の交流及び活性化にも一定の効果があった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 上げる	税に関するタイムリーな話題を生かした講習会を開催し、税務問題の理解や関心をより深めていく。			
産業団体事業	東浦町資源リサイクル推進協議会や日本容器包装リサイクル協会の事業活動に協力することにより、中小企業・小規模事業者の社会的貢献や循環型社会の実現の一助となり、ひいては商工業の発展に資することを目的とする。	・マニファスト作成枚数 48枚 (マニファストとは産業廃棄物を処理委託する際に事業者が廃棄物の業者間の流れを確認できるように作成する管理表)	中小・小規模事業者	指標 マニファスト作成枚数 (達成度 96.0 %)	指標 (達成度 %)	愛知県の指導によりマニファスト作成基準が1か月分の集計から持ち込まれることの作成となり、作成枚数が大幅増加した。作成枚数は概ね当初計画どおりであった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	資源リサイクル推進協議会への参加拡大を図るため、対象業種を絞った効果的な事業PRに力を入れていく。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。